

北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について確認

赤穂市教育委員会

先日、北海道では、北朝鮮から発射された弾道ミサイルに対し全国瞬時警報システム（Jアラート）によって情報伝達が行われました。このように、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、全国瞬時警報システム（Jアラート）による情報伝達が行われます。

そこで、弾道ミサイル飛来に伴い兵庫県に「屋内避難の呼びかけ」等があった場合の対応についてお知らせします。

	緊急情報発信時	発令後の対応	安全の確認方法
児童生徒が在宅中	・自宅待機。	・安全の確保が確認できるまで自宅待機。 ・安全が確認できれば登校。 (連絡メールシステムよりお知らせ)	テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努め、安全の確保等について確認。 (確認事項の例) ・ミサイルの飛翔方向、着弾場所。 ・ミサイルの着弾や落下物の有無。 ・学校、通学路等の被害の有無等。
児童生徒が登下校中	・下記の行動例に基づき行動。 ・公共交通機関乗車中等については当該機関の指示による。	・安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機。 ・安全が確認できれば登校。 (周囲の変化や人の行動も情報の1つ) ・「危険が回避されない場合」は、保護者の方は、自身の避難行動の後、安全に配慮しながら自宅を確認し、できるだけ速やかに迎えに行く。	
児童生徒が在校中	・下記の行動例を参考とした危機管理マニュアルに基づいた対応。	・安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機。 ・安全の確保が確認できれば授業を再開、場合によっては下校。 下校する場合、保護者の方は、自身の避難行動の後、安全に配慮しながらできるだけ速やかに迎えに行く。	

<ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例>

活動場所の別	とるべき行動の例
屋外にいる場合	・近くの建物の中、または地下などに避難する。 ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。
屋内にいる場合	・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。